

● 公民館建替適地案検討に当たっての着目点

これまでの検討委員会の中で出された候補地、現中央公民館の場所、クリーンセンター跡地及び竹取公園周辺（図書館前、駐車場付近）について、施設整備時のメリット及びデメリットについて、地理的要因等を踏まえながら、当検討委員会として検討する。なお、これらの箇所以外でも適地となる場合もある。

1 交通アクセス性（道路及び公共交通）

候補案場所に係る各地の位置を概観するとともに、道路網、公共交通網の観点も踏まえた交通アクセス性の観点から検討する。

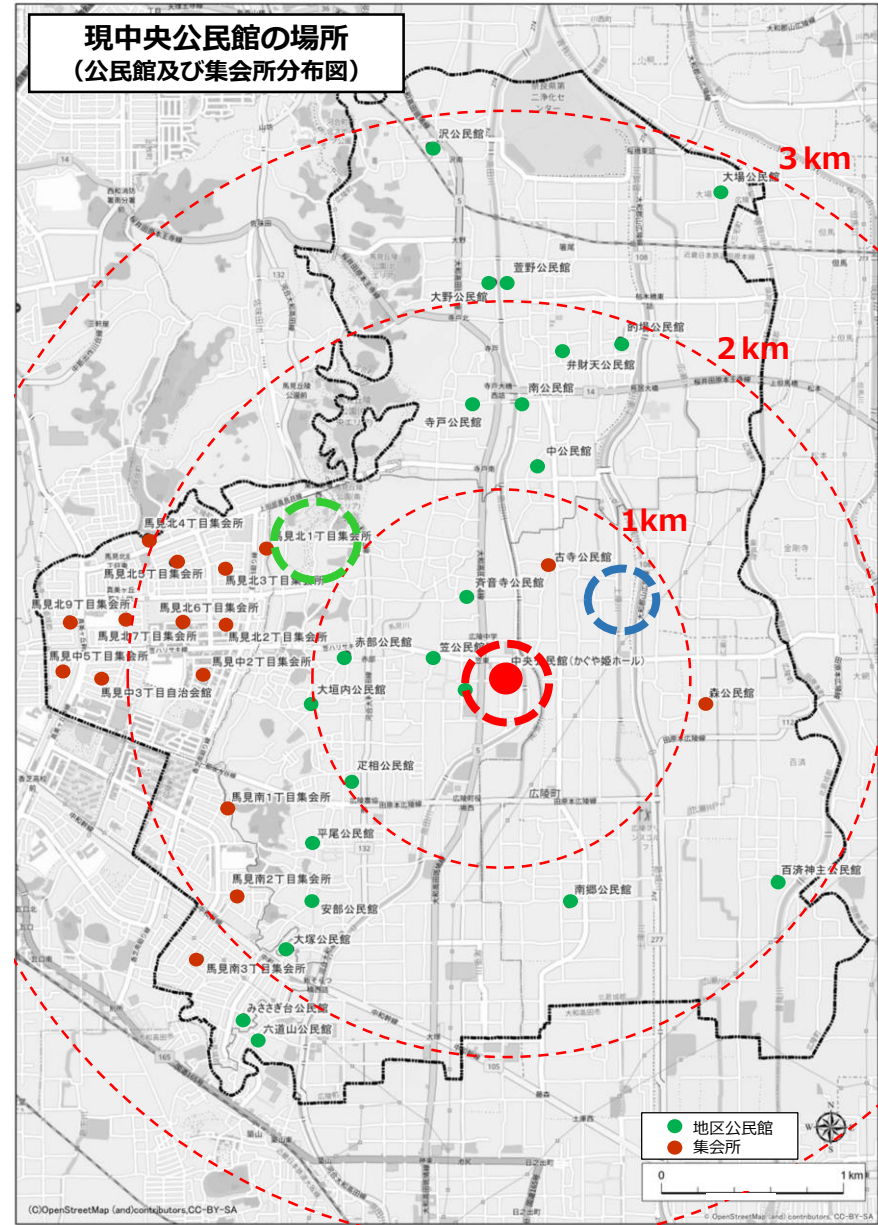
2 地震発生時の想定

防災拠点機能を加えた複合施設としての各機能を有するため、地震発生時の被害（人、設備及び収蔵品被害など）を最少とする必要がある。

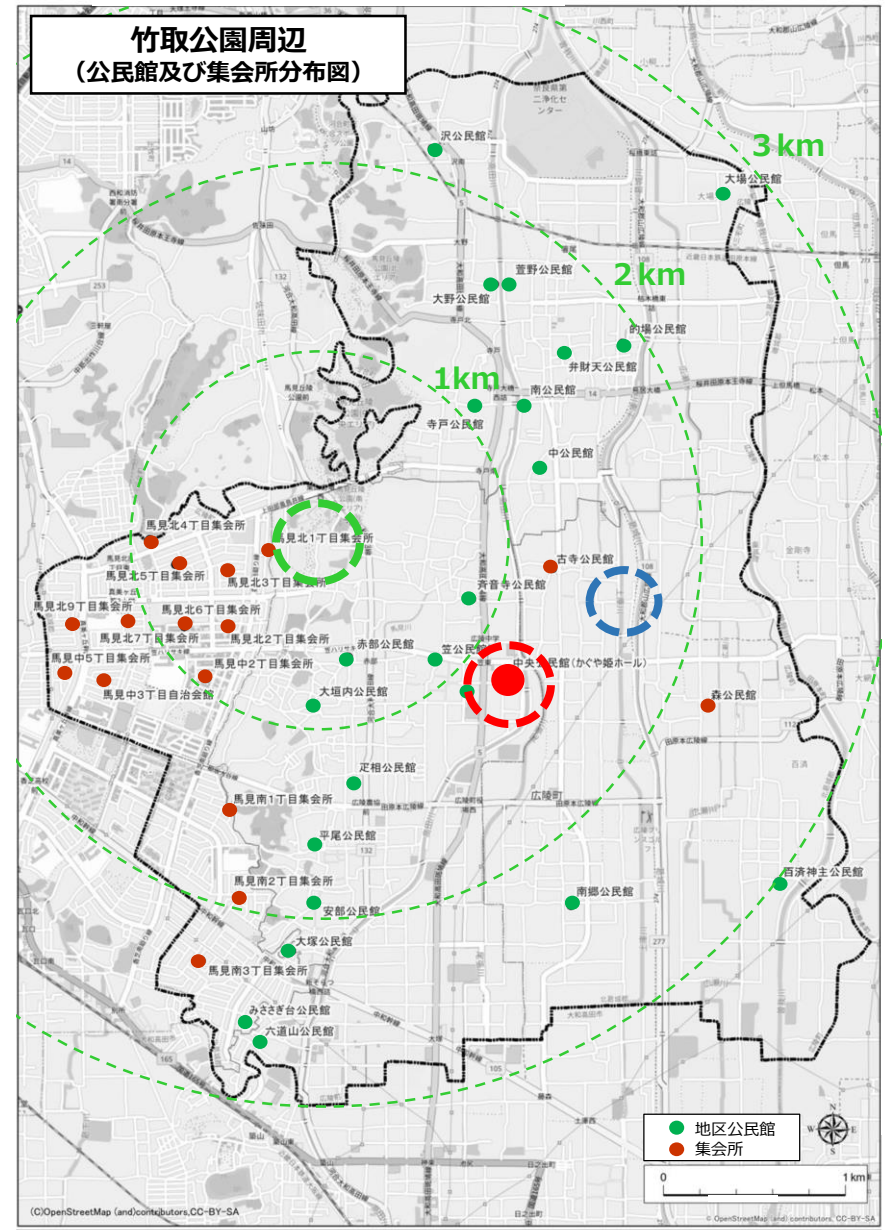
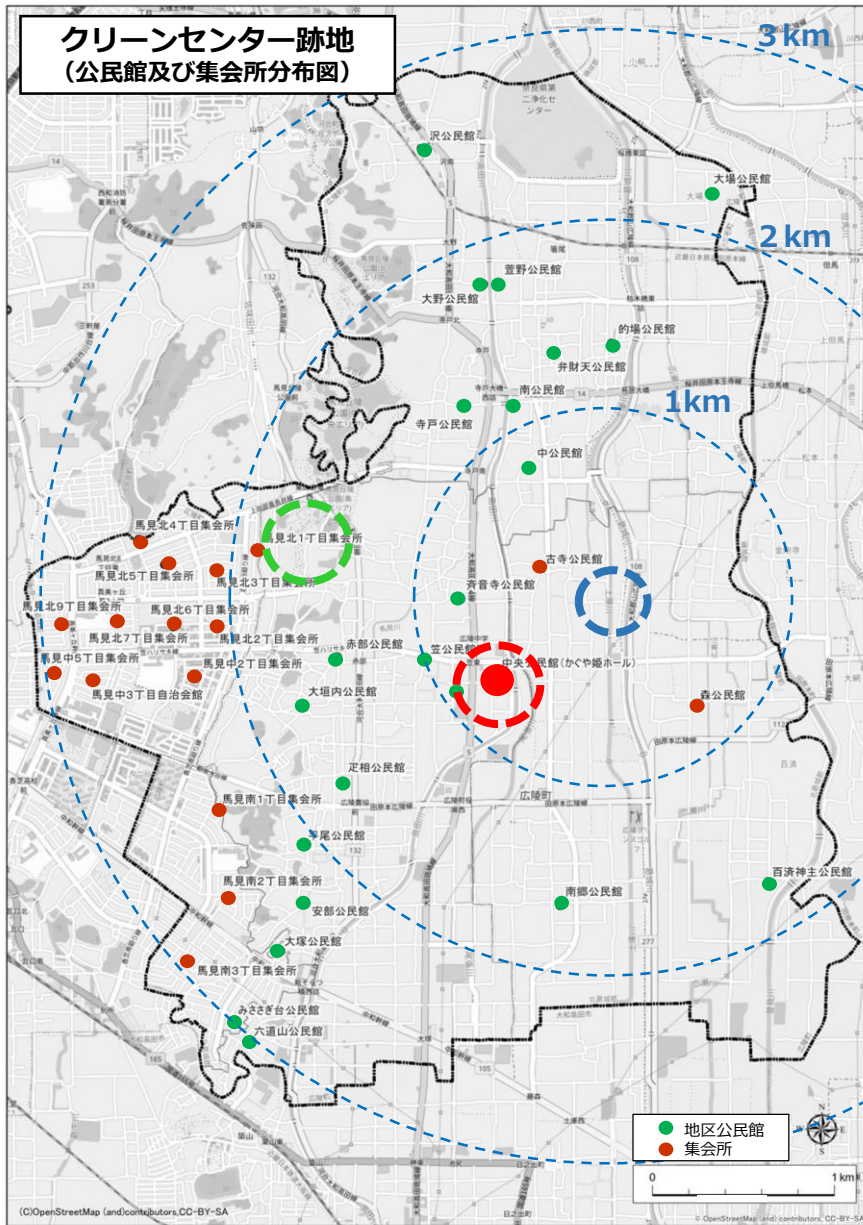
免震構造等、技術的方法による揺れの軽減も考えられる。

3 洪水発生時の浸水リスク

2の地震発生時と同様に、浸水リスクを考慮する必要がある。歴史資料館及び収蔵庫機能部分については、上層階に設置する等、構造上の工夫が必要になる場合がある。



公民館建替適地案検討資料



公民館建替適地案検討資料



・交通アクセス性（道路）

候補案場所に係る道路網については、いずれも幹線道路に近く、また周辺道路整備も行われており、道路（自動車）のアクセスは良い。

・交通アクセス性（公共交通）

(1) 鉄道

町内の鉄道駅は近鉄田原本線の箸尾駅のみであり、それ以外のアクセスとしては近鉄大阪線の大和高田駅から路線バスまたは広陵元気号、また、五位堂駅から路線バスによるアクセスとなる。箸尾駅も含め、いずれの駅から徒歩によるアクセスは見込めず、アクセス性としては、以下の順となる。

竹取公園周辺 > 現中央公民館 > クリーンセンター跡地

(2) 路線バス

町内の路線バスは、路線の休止に伴い、真美ヶ丘ニュータウン内路線及び近鉄高田駅から竹取公園東を結ぶ路線となっており、路線バスの路線は町域の西側に偏っているうえ、便数も十分でない。路線バスを利用できる者に限られるが、路線バスによるアクセス性は、以下の順となる。

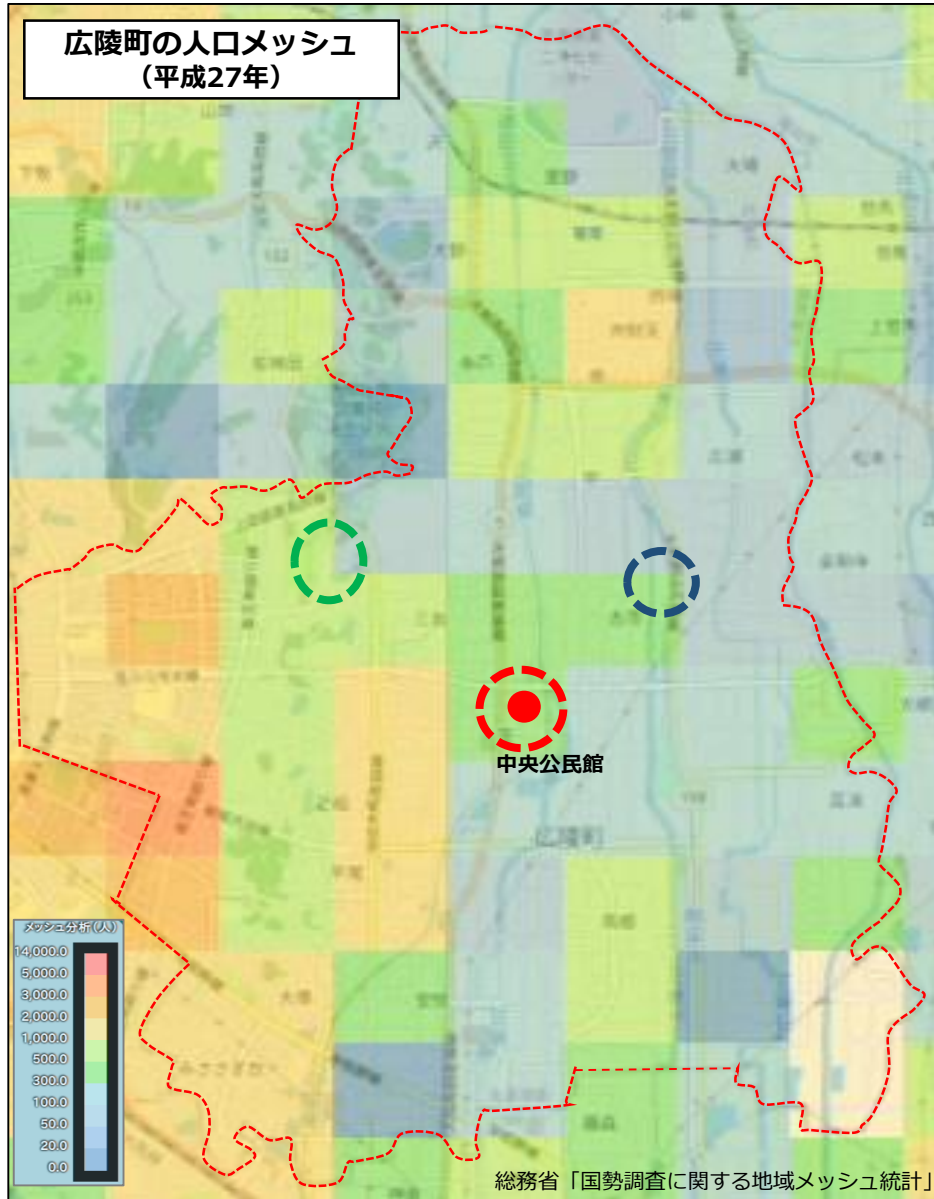
竹取公園周辺 > 現中央公民館 > クリーンセンター跡地

(3) コミュニティバス（広陵元気号）

町内の公共交通として、休止バス路線の補完及び町内移動の確保のため、町内南北軸を結ぶ中央幹線、支線系統として北部を巡回する北部支線、同じく南部を巡回する南部支線を運行し、各公共施設を結んでいる。新施設ができれば、路線の見直しも考えられるが、現時点でのコミュニティバスでのアクセス性は以下の順となる。

現中央公民館 > 竹取公園周辺 > クリーンセンター跡地

公民館建替適地案検討資料

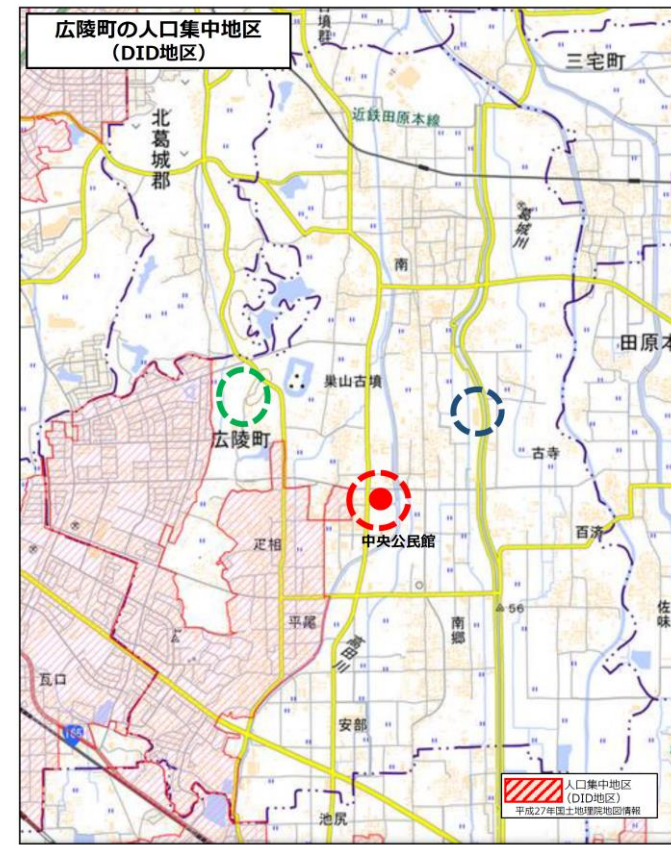


・広陵町の人口分布

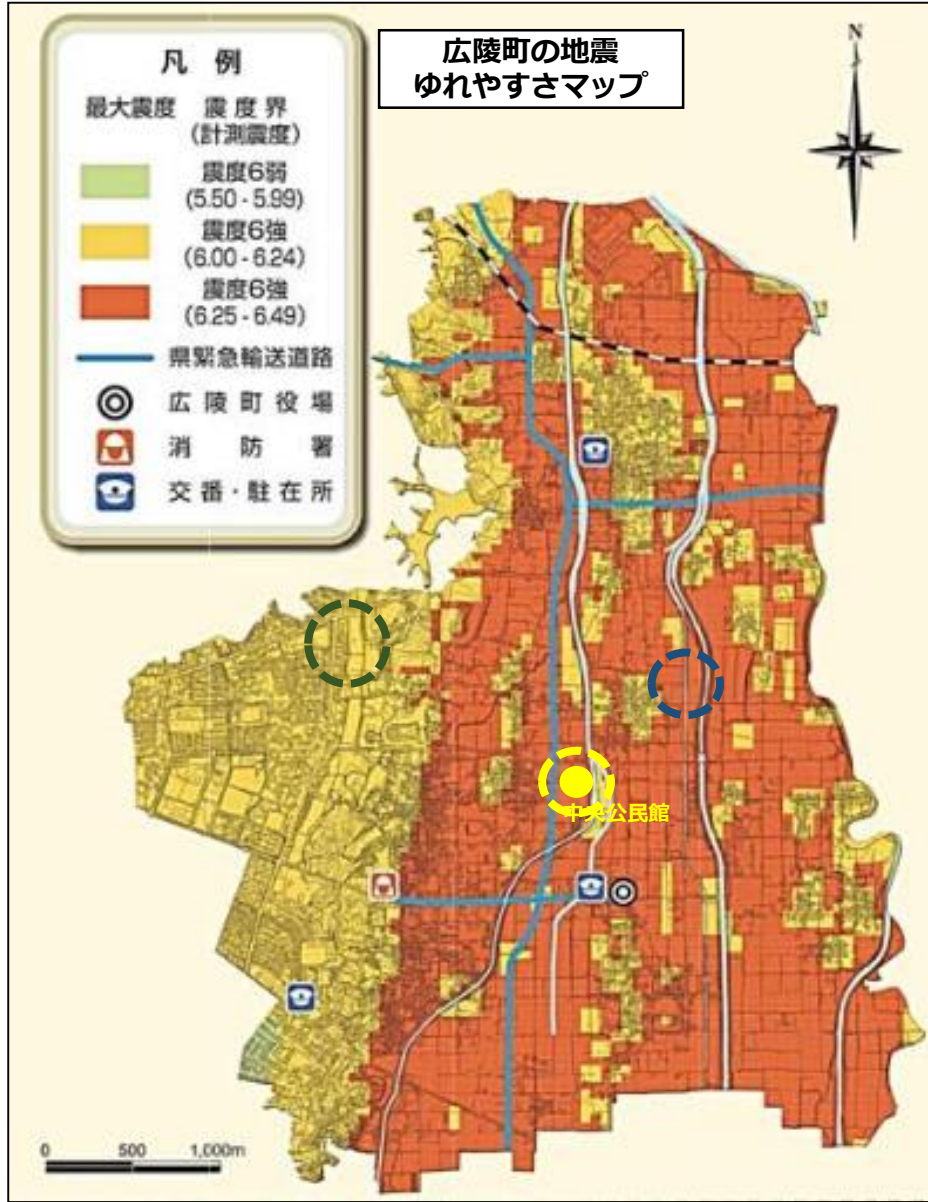
平成27年の国勢調査結果に基づく広陵町の人口メッシュ(500m)を見ると、真美ヶ丘ニュータウン、広陵西小学校区、北校区の弁財天周辺の人口が多く、東から南東地域の人口が少ない。

また、人口集中地区(人口密度が4,000人/km²以上の区域が集まり、合計人口が5,000人以上となる地区)は、西部の市街化区域内に存在しているが、北部や南部の市街化区域には、人口集中地区は存在しない。人口分布からの面では以下の順となる。

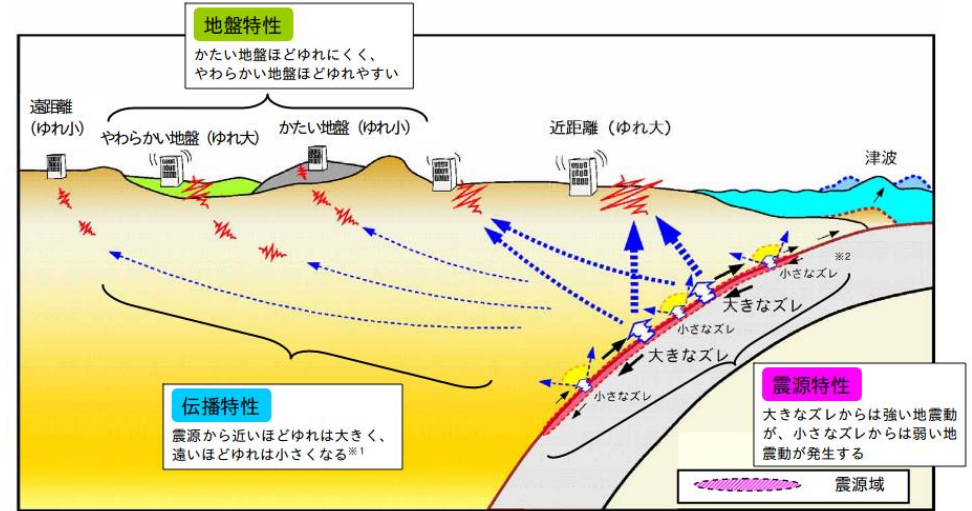
竹取公園周辺 ≧ 現中央公民館 > クリーンセンター跡地



公民館建替適地案検討資料



・地震発生時のゆれやすさ



ゆれやすさマップとは、同じ震度や地震規模でも、地盤のやわらかい場所では、地盤の固い場所に比べて揺れが強くなること等、その場所の地盤の性質（地盤特性）による表層地盤のゆれやすさの分布を示した地図

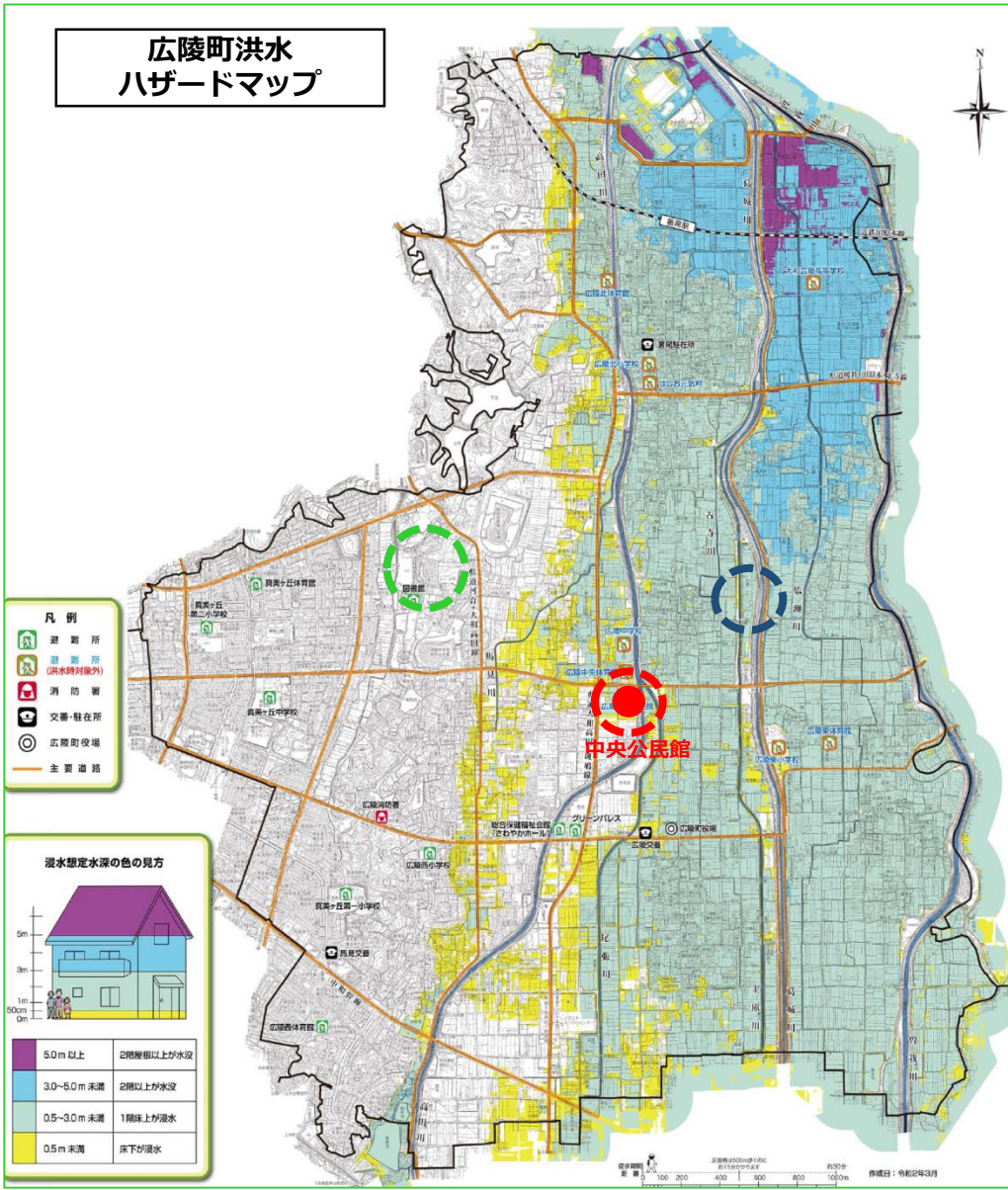
広陵町の地盤形質は、西部の真美ヶ丘地区をはじめとした馬見丘陵部分で地盤が固くゆれにくい一方、東部を中心とした地域では、河川によって運ばれた土砂が堆積して平野部が形成され、比較的地盤が軟らかいことから、揺れが大きくなる傾向がある。

ゆれにくさの面では、以下の順となる。

竹取公園周辺 < 現中央公民館 = クリーンセンター跡地
 ゆれにくい ← → ゆれやすい

公民館建替適地案検討資料

広陵町洪水ハザードマップ



・洪水

広陵町では大和川水系の高田川、葛城川及び曾我川の洪水浸水想定区域図に基づき「洪水ハザードマップ」の作成し公開している。

・洪水ハザードマップとは

洪水時に住民が円滑に避難できるよう、洪水浸水想定区域をもとに、河川がはん濫した場合に浸水が想定される区域や、その際の避難場所等を示したもので、想定し得る最大規模の降雨があった場合に、浸水が発生する地域とその深さがどの程度になるかシミュレーションした結果を表している。

【洪水浸水想定区域】

洪水により相当な損害が生じる恐れがあるとして、奈良県が指定した河川について、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したもの

【想定し得る最大規模の降雨】

大和川流域における12時間の総雨量316mmを想定
(およそ1000年に1度の大雨)

洪水リスクの小ささは、以下の順となる。

竹取公園周辺 < 現中央公民館 ≤ クリーンセンター跡地
小 ← → 大

公民館建替適地案検討資料

● 遺跡等の分布状況

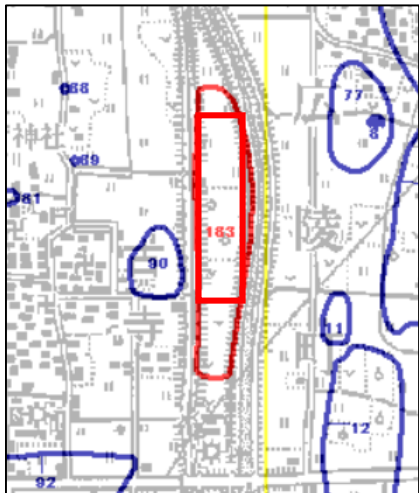
1 現中央公民館の場所



現敷地内は、遺跡等が含まれないため、発掘調査等は不要

※開発面積が10,000㎡を超える場合は、現地踏査又は試掘が必要となる。

2 クリーンセンター跡地

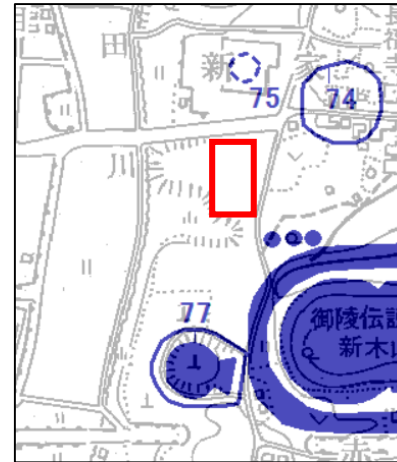


敷地部分全体が古寺タム口遺跡の区域となっている。

過去の発掘において、縄文、弥生、土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、瓦、木製品、耳栓、石器、サヌカイトが出土している。

クリーンセンター部分は発掘調査が行われ、出土品の保存や発掘調査結果の記録が行われているが、それ以外の部分では発掘調査が必要となる場合もある。

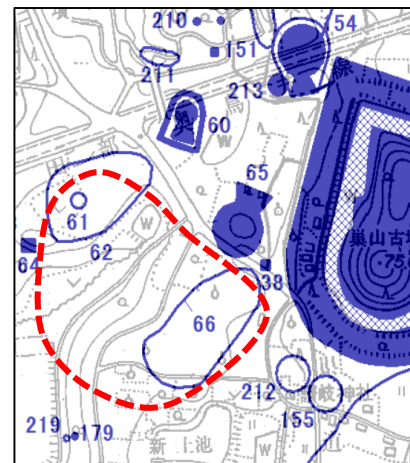
3 竹取公園周辺（図書館前）



見込まれる敷地内は、遺跡等が含まれないため、発掘調査等は不要

※開発面積が10,000㎡を超える場合は、現地踏査又は試掘が必要となる。

4 竹取公園周辺（駐車場付近）



周辺には、遺物散布地や古墳等が散在しており、過去に土師器、須恵器、瓦、瓦器等が出土している区域もあり、造成区域と重なる場合は、発掘調査等が必要となる。

公民館建替適地案検討資料

● 適地案の状況

1 現中央公民館の場所



県道大和高田斑鳩線至近
町道笠ハリサキ線に接道
北側には中央体育館、広陵中
学校へと続く。東側に高田川が
流れ、尾張川が合流している。
近年、宅地開発により、敷地
西側に住宅建設が進む。

2 クリーンセンター跡地



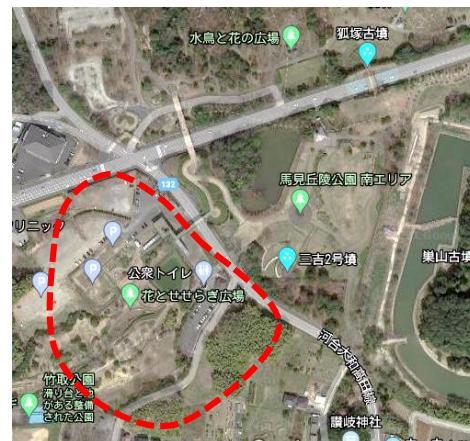
県道大和郡山広陵線至近
町道百済赤部線至近
東側に葛城川、西側に土庫川
が流れている。

3 竹取公園周辺 (図書館前)



町道広谷秋廻線至近
北側に町立図書館、竹取公園が
広がる。南側は町営墓地及び三
吉石塚古墳、西側に広陵町・香
芝市共同中学校給食センターが
ある。

4 竹取公園周辺 (駐車場付近)



県道河合大和高田線、町道
上田部・奥鳥井線に接する。
竹取公園、県営馬見丘陵公
園南エリア直近、特別史跡巢
山古墳、三吉2号墳が近くに
ある。

公民館建替適地案検討資料

適地案として考えられる候補地のメリット及びデメリット

候補地	メリット	デメリット
現中央公民館の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・町域の中央部に位置（人口集中地区隣接）し、道路、公共交通アクセスが良い。 ・公民館の場所として、既に認知されている。 ・中央体育館に隣接しており、一体的な運用や管理ができる。 ・広陵中学校の利用も見込める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールや施設の規模から、用地の取得による駐車場の整備が必要となる。 ・浸水想定地域（最大3m） ・地震時震度想定が大きい（震度6強）
クリーンセンター跡地	<ul style="list-style-type: none"> ・道路アクセスが良い。 ・広い敷地を確保でき、追加取得の必要がない。 ・クリーンセンター協定書に沿う施設 ・要望のある垂直避難施設になり得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定地域（最大3m） ・敷地東西に河川（葛城川・土庫川） ・地震時震度想定が大きい（震度6強） ・ごみ中継施設との動線に注意を要する。 ・遺跡（古寺タム口遺跡）クリーンセンター以外の場所は、発掘調査が必要となる。 ・夜間人通り等が少なく、防犯上の注意を要する。
竹取公園周辺（図書館前）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と一体的利用や公園による集客が可能 ・文教施設をまとめた魅力発信拠点化 ・人口集中地区に接する。 ・道路、公共交通アクセスが良い。 ・子育て支援機能を加えやすい（図書館近接）。 ・地震や水害のリスクが比較的低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールや施設規模から、駐車場確保に問題がある（隣接地確保困難か）。 ・敷地面積が限られる（周囲に拡張できない。）。 ・夜間人通り等が少なく、防犯上の注意を要する。
竹取公園周辺（駐車場付近）	<ul style="list-style-type: none"> ・公園による集客が望める。 ・巢山古墳の展望施設にできる。 ・人口集中地域に接する。 ・道路、公共交通アクセスが良い。 ・子育て支援機能を加えやすい（公園近接）。 ・地震や水害のリスクが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所により土地取得及び造成が必要となる。 ・遺物散布地のため、発掘調査が必要となる。 ・行楽期、公園イベント時の駐車場を考慮する必要がある。

※ これまでの検討委員会の中で出された適地案を例示したものであり、他の場所も考えられる。